

# 議会だより



## 「岡上景能公顕彰祭」(笠懸町)

平成6年12月3日、笠懸野の灌漑用水(岡登)建設に尽力し、郷土笠懸野の発展の礎を築いた代官岡上次郎兵衛影能公の顕彰碑が地元有志の皆様の手によって建立され、以降毎年命日の12月3日に顕彰祭を行っています。荒涼たる笠懸野を開墾、地域住民の生活の安定を図り、足尾銅山奉行も兼任、江戸への搬出ルートを簡素化するため、あかがね街道の変更と整備に全力を尽くしましたが謂れなき讒言により自刃(享年60余歳)、身を挺して地域の発展に尽くした公は、今も、まっすぐ南を向いて指揮を取っています。

## 平成19年第4回定例会(12月)

### 〈主な内容〉

本会議・請願・補正予算・会期日程	2～3
委員会報告	4～5
一般質問	6～17
まちの声	18

# 議会だより



## 「岡上景能公顕彰祭」(笠懸町)

平成6年12月3日、笠懸野の灌漑用水（岡登）建設に尽力し、郷土笠懸野の発展の礎を築いた代官岡上次郎兵衛影能公の顕彰碑が地元有志の皆様の手によって建立され、以降毎年命日の12月3日に顕彰祭を行っています。荒涼たる笠懸野を開墾、地域住民の生活の安定を図り、足尾銅山奉行も兼任、江戸への搬出ルートを簡素化するため、あかがね街道の変更と整備に全力を尽くしましたが謂れなき讒言により自刃（享年60余歳）、身を挺して地域の発展に尽くした公は、今も、まっすぐ南を向いて指揮を取っています。

## 平成19年第4回定例会(12月)

### 〈主な内容〉

本会議・請願・補正予算・会期日程	2～3
委員会報告	4～5
一般質問	6～17
まちの声	18

## 23議案を審議

### 補正予算案、条例改正案で活発な議論

12月4日に開会された平成19年みどり市第4回定例会は、18日の本会議をもって15日間の日程を終了した。  
一般会計補正予算案等について本会議で慎重かつ活発な議論が行われた。議会開会直前に行われた各委員会所管事務調査で得た成果と併せて、今後の議会運営の充実に生かしていきたい。

#### 審議結果

専決処分した事件の承認  
みどり市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 原案承認  
みどり市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 原案可決  
みどり市国保診療所に勤務する医師等の給与及び特別勤務手当等の支給等に関する条例の一部を改正する条例 原案可決

みどり市国民宿舍事業利用料条例の一部を改正する条例 原案可決  
工事請負契約の締結 原案可決  
市道の路線廃止 原案可決  
市道の路線認定 原案可決  
平成19年度みどり市一般会計補正予算(第4号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市鉄道経営対策事業特別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決

平成19年度みどり市国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市国民健康保険(診療所勘定)特別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市老人保健特別会計補正予算(第3号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決

別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市富弘美術館事業特別会計補正予算(第3号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市下水道事業特別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市富弘美術館事業特別会計補正予算(第3号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市下水道事業特別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決  
平成19年度みどり市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)の設定 原案可決

#### 人事案件

人権擁護委員候補者の推薦に同意  
山越敏雄(笠懸町)  
小屋雅義(大間々町)

訂正  
前発行の「議会だより5号」2ページ決算表中に誤りがありました。  
「平成19年度」↓「平成18年度」  
農業共済事業会計  
上段 事業収益 ↓  
2億 815万円  
下段 事業費用 ↓  
2億1,345万円  
国民宿舍事業会計  
上段 ↓ 事業収益  
下段 ↓ 事業費用  
にお詫びして訂正いたします。

#### 請願

民生福祉常任委員会  
●後期高齢者医療保険制度の大幅見直しを求める請願書 ↓ 採択  
(賛成者全員 意見書提出)  
●難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患に対する総合的対策の早期実現を求める請願書 ↓ 採択  
(賛成者全員 意見書提出)

#### 意見書の要旨

●全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書 ↓ 挙手少数  
(賛成者少数 不採択)  
後期高齢者医療保険制度の大幅見直しを求める意見書  
2008年から後期高齢者医療保険制度が発足しましたが、新たな制度には多くの問題点が指摘されています。後期高齢者医療保険制度は、単に国民全体で高齢者の医療を支える新たな仕組みをつくるだけにとどまらない問題点を持っています。高齢者の生活実態や経済状況を踏まえた制度となるような見直しが必要です。「保険で安心してかかれる医療」というのは、国民共通の願いです。国庫負担の増額と医療保

険に対する国の責任を強めることなど、先の事項につき、国に対して、意見書を提出します。  
要請事項  
後期高齢者医療保険制度の抜本的な見直しをすること。難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患に対する総合的対策の早期実現を要望する意見書  
今、原因が不明で治療方法も確立されていない難病患者等やその家族は長期療養を余儀なくされ、過酷な負担を強いられ、正規の就労につくことができない。難病医療費補助の予算を拡大し、国の指定疾患以外の疾病も難病対策に取り入れる等、抜本的改革を行う必要がある。  
については、難病患者等が安心、信頼して医療を受けながら暮らせる生活を保障するため、次の意見書を提出する。  
記  
国会において採択された「難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患に対する総合的対策」を早期に実現すること。  
平成19年12月18日  
群馬県みどり市議会議長 藤生 英喜  
内閣総理大臣あて

### 第4回(12月)定例会の日程

- 4日 本会議
  - 請願各委員会付託
- 5日 本会議
  - 一般質問 6名
- 6日 本会議
  - 一般質問 6名
  - 市長提出議案上程(提案説明)
- 11日
  - 市長提出議案への質疑
- 12日 民生福祉常任委員会
  - 討論・採決(一部常任委員会に付託)
- 13日 経済建設常任委員会
  - 常任委員長報告
- 14日 総務文教常任委員会
  - 質疑・討論・採決
- 18日 本会議
  - 請願に対する意見書提出

平成19年度 各会計の補正状況

一般会計	補正額	1億6,792万9千円
	補正後の予算額	169億4,001万8千円
鉄道経営対策事業特別会計	補正額	27万9千円
	補正後の予算額	1億5,029万7千円
国民健康保険(事業勘定)特別会計	補正額	3億1,373万2千円
	補正後の予算額	56億665万4千円
国民健康保険(診療所勘定)特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	1億8,775万1千円
老人保健特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	42億7,498万9千円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	29億1,600万5千円
簡易水道事業特別会計	補正額	1,243万9千円
	補正後の予算額	8,199万0千円
農業集落排水事業特別会計	補正額	300万0千円
	補正後の予算額	9,470万0千円
富弘美術館事業特別会計	補正額	82万0千円
	補正後の予算額	3億8万5千円
下水道事業特別会計	補正額	250万0千円
	補正後の予算額	14億1,350万0千円
競艇事業特別会計	補正額	50億2,601万0千円
	補正後の予算額	761億7,339万4千円
農業共済事業会計	補正額	314万0千円
	補正後の予算額	2億8,842万7千円
国民宿舍事業会計	補正額	622万0千円
	補正後の予算額	4億1,130万0千円

総務文教  
常任委員会

所管事務調査

平成19年9月30日から10月2日までの3日間沖縄県那覇市、名護市、沖縄市に先進地視察という観点から所管事務調査に訪問した。

1日目の調査地は、名護市役所にて、「デマンドバス」についての研修。この研修についての事前調査ということでもさまざまな回答を名護市当局から得ており、みどり市において今後「デマンドバス」を運行させる場合の問題点の追求にある。

名護市においては、試行運転まで実施し住民からの大きな期待と必要性をいたした中、「運送業者」との話し合いがつかず運行までに至らなかった実情があり、みどり市においてはその教訓を活かし、事前のさまざまな協議を関係機関と十分に行い進めていくべきという結論を得た。

2日目の研修は、沖縄市の消防本部に訪問、今後み



目的 子育て支援総合モデル市町村としている事業及びボランティアとの連携による出前型の子育て支援について  
「子育て支援都市宣言」を行ったこの市では、地域全体で子育てを支援してゆく体制作りを推進、実現している所である。ボランティアとの協働により、子供の健康作りや、遊びなど支援する人、される人にも、大いに好評を得ている。子育て支援の側面支援の観点から、これらの施策は、みどり市の模範とすべきと考

どり市として(仮称)「桐生西消防署建設」のためのさまざまな留意点を確認した。

特に重要な部分については、地元周辺住民との話し合いが建設の推進に大事な部分という事を確認、みどり市の消防署建設についても十分な地元説明会等を重ねながら推進をして参りたいと執行部に対してさらに要望している。

3日目は那覇市の社会体育館の視察ということで、現在みどり市も社会体育館建設が順調に進行している



▲那覇市社会体育館



▲みつぎ総合病院内リハビリ施設

経済建設  
常任委員会

付託された議案の  
審査経過と結果

第94号 みどり市国民宿舎事業利用料条例の一部を改正する条例について  
第95号 工事請負契約の締結について  
12月13日委員会開催。副市長ほか関係職員の出席のもと、説明を受け慎重に審査を行った。第94号では、支配人の裁量権や利用料金とキャンセル料について多くの質疑が出た。主な答弁

では、支配人の弾力的裁量権運用は可能。現場での経営やキャンセル料金等の判断は、支配人に任せる。高い料金かどうかはお客さまが判断することであり、効率化を目指し、おもてなしの心を大切にし、お客さまに満足度のある対応をしていくことであった。

第95号条件付一般競争入札という契約の方法では、みどり市の業者に多くの機会を与えることを考慮し、また地元業者の育成という考えもある。参加資格などの面では、Aランク(P点750点)では、みどり市には2社のみであり、参加できる業者が限られてしまつたので、今回は、700点に下げたこと。この工事は、分離発注よりも一体的な事業にしたほうが経費削減、効率化になるとのこと、であった。

採択の結果、両議案とも全員賛成で、原案のとおり可決すべきと決定した

所管事務調査

平成19年10月17日から19

第8号 全額国庫金負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書について

審査結果

本委員会は、12月12日委員全員及び執行部の出席のもと開催した。第4号に対し、すべての高齢者から保険料が徴収される制度であり、高齢者の生活実態や、経済状況を精査した上でのものか等、意見集約を行い、結果採択とした。第7号は、その患者や、家族に過酷な負担が強いとされている現状等をかんがみ採択とした。

4号7号において、内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣あてに意見書を提出すべきもとした。第8号に対し現年金受給者との整合性は計れるのか、無拠出の受給、納入率の低下が懸念されることから不採択とした。

他、第2保育園の分園の取り組み「かたくりの湯」の有料化について、みどり市高齢者緊急通報装置給付事業など各要綱についても協

議した。

所管事務調査

平成19年10月17日から19日まで、所管事務調査を実施した。

視察地 広島県尾道市「公立みつぎ総合病院」  
目的 健康で安心して暮らせる地域をめざした。保健医療福祉の連携、総合を図り、先進的な活動の取り組みについて。

この病院の最大の特徴は、院内に、保健福祉センターを設置したことである。早期より高齢者対策に着目したこの病院は、保健・福祉・医療を一元化することにより、住民がサービスを利用しやすくなったことはもとより、さらなる地域福祉の向上を、市・病院・住民一体となり、模索しているところである。

今後の みどり市福祉のありかたのヒントをいただいた。  
視察地 徳島市保健福祉部子育て支援課

日まで行った。  
研修地及び研修内容  
青森県青森市議会

- (1) ねぶた祭りについて
- (2) コンパクトシティについて
- (3) 競艇事業の現状と今後の課題

10月17日の午後、青森市庁舎に到着。「ねぶた祭り運営と市民参画について」詳細に説明を受けた。この祭りの運営は、青森ねぶた運行団体協議会が中心となり、民間主体でお祭り全体

た大型集客施設を開業し、街に賑わいを取り戻している。通行量がアップし、中心部の居住人口も増えるなど大きな成果を上げている。その後質疑応答を行った。「ポートピアなんぶ」では、開場の時から今日までの状況や売り上げ、そして南部町との関わりなど調査研修を行った。売り上げ状況が厳しくなってきたという現状と経営状況を改善するためのこれからの経営方針などを説明を受けた。



▲青森市議会

Q 真相を公開、サンレイク再生をアピールすべき

A 集客について努力を惜しむつもりは無い

坂本 正幸 議員



問 観光シーズンも一段落した。昨年と比較してサンレイクの経営状況は。産業観光部長 依然として厳しい状況である。

問 再生を図る上で徹底した原因究明とその対策が急務、大間々署に届けた盗難被害額三百数十万円の件はどうなっているのか。総務部長 捜査中とのこと。

問 誤解と多くの市民に不公平感を与えてしまった割引問題が大きな原因。早急に事実を公表することが、離れてしまったお客様に戻ってもらう唯一の方法では。総務部長 一職員によるラ



▲サンレイク草木

ウンジ、自動販売機の管理などがずさんであったことを主眼に捜査したものの。誤解されたとしたら遺憾である。この件で改めてマスクミ発表は考えていない。問 新支配人は9月議会の答弁で「この程度の割引は一般的に行われている。現場に裁量を持たせてくれないと営業できない」と、とれる発言をしている。再生に向けて新たな営業方針が検討されるなか、この問題を曖昧にしたままでは新コンセプトとの整合性が保て

ない。管理者として誤解されている割引率の真相を公開し、新たにサンレイク再生をアピールすべきでは。市長 集客について努力を惜しむつもりはない。経過については今後考えたい。嘱託・臨時職員の待遇、職種、職能を考慮すべき。

問 接客マナー、専門的知識、特殊技術を必要とする職場で、合併前に比較し賃金の引き下げと、勤務時間週40時間から30時間に短縮について検討しているそうだが方針を聞きたい。総務部長 県より通達が来ている。地公法に照らして難しい。民営化を含め検討旧町村から引き継がれた問題について

問 旧泉小学校跡地問題について

Q 旧石材センターの崩壊地の復旧は

A 実態調査をしてから

常見 詔子 議員



問 富弘美術館の建設から今日までの経緯は。産業観光部長 平成3年に

旧東村から富弘氏にお願いして作品を無料で借りた。問 管理運営委員会の委員の選出は富弘氏の同意を得て、市長が任命するところだが現職の議員が委員長では不都合があるのでは。産業観光部長 任命の時は議員でなかった。旧東村では各種審議会の委員には申し合わせによって議員はなかった。

問 旧石材加工展示センターの利活用はしないのか。産業観光部長 借地のため地権者とのトラブルもある。農産物直売所は富弘美術館の敷地内に今年の秋に仮オープンして好評だ。解体撤去も含めて、利活用については考える時間を。問 旧石材センターの崩壊地の復旧はどの程度か。元の土地が25坪ほど無

くなっていると地権者が言っているが。産業観光部長 12月補正で復旧工事をする予定だが、実態調査してから工事を進めたい。

Q なぜ、私有地に用

A 地権者の立ち会いなしでの復旧工事

問 昭和58年の水路の復旧工事が、なぜ個人の土地に行われたのか。24年間も問題解決できなかった理由は。

水道局長 災害復旧工事を施工する際、地権者の立ち会いを得ずに、境界をよく確認しないまま敷設した。長い年月が経過しているが、平成14年に大間々町が私有地の無断使用を認め、地権者と度重なる協議を重ねてきている。問 桐原配水場の法面崩落の再発の危険や、住民への被害防止の対策は。水道局長 当時、災害復旧工事として法面下部に重力式擁壁を設置、崩落法面には現場打法枠工を施行した。その後平成10年9月の台風



▲法面が崩壊している旧石材センター

時、湧水が発生したので安全対策工事を行った。その他の質問 地域経済の活性化のため住宅リフォーム助成を

つた事が半分位しか進ちょくしていないが、取捨選択をし取り組んでいきたい。問 3商工会の合併を平成21年度までという市長の考えのようだが、メリット・デメリットをどのよう把握しているのか。ペナルティという話も聞かされているが。

確保、企業誘致、企業の流失を防ぐ対策が求められているが。副市長 庁内に企業誘致研究会を立ち上げ、情報収集や事業者との交流を行い、活力のあるみどり市を目指したい。

問 3商工会の新年度予算編成への補助金の算定基準は、どのようになっているのか。産業観光部長 3年間で調整することになっているが、本年度と同じ総額の中で調整配分することになる。

Q 不祥事への取組は

A 綱紀粛正に努める

荻野 忠 議員



問 不祥事が次々と起き、市民の信頼を損ね非常に残念だ。事件の顛末をしっかりと分析し、どこにどのような問題があったのか反省し、これからの行政運営に生かすべきと思うが。総務部長 担当部署や行政係が協議し、処理に努めて

いる。綱紀粛正に努めるよう指示も出している。問 市長のみどり市行政運営は、平成20年度の予算編成と平成21年度と2回となる。市長の公約は、どのように予算面に生かしているのか。市長 マニフェストにうた

問 接客マナー、専門的知識、特殊技術を必要とする職場で、合併前に比較し賃金の引き下げと、勤務時間週40時間から30時間に短縮について検討しているそうだが方針を聞きたい。総務部長 県より通達が来ている。地公法に照らして難しい。民営化を含め検討旧町村から引き継がれた問題について

問 旧泉小学校跡地問題について



▲報道された記事

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。

Q DVの専門窓口設置は

A 早急に検討していく

宮崎 武 議員



問 桐生市長と乳幼児福祉医療費を小学校3年生まで無料化と言う合意をしたことが新聞報道されていたが市長の考え方を確認したい。市長 この件について特にすりあわせをした訳ではない表現として合意とされたのではないかと。

問 ドメスティックバイオレンスは心から信頼すべき夫や恋人から女性に対して暴力を行う行為を指すが、みどり市内で現在までの事例を確認したい。

民生部長 本年4月よりの事例としては、2件で大きな問題とはなっていない。

問 平成20年1月11日より配偶者暴力防止法の改正に対応し窓口の新設、担当者の専門職化を推進してもらいたい。

民生部長 窓口名称の具体的な呼称、専門職の配置についても今後早急に検討して参りたい。

問 桐生市長と乳幼児福祉医療費を小学校3年生まで無料化と言う合意をしたことが新聞報道されていたが市長の考え方を確認したい。市長 この件について特にすりあわせをした訳ではない表現として合意とされたのではないかと。

問 公共施設の傷害保険の現状と今後の対応について伺いたい。先日、公立保育園で起きた骨折の事例を重く受け止め、現在の傷害保険の加入状況と怪我等の事例について確認したい。

例について確認したい。民生部長 第一、第二保育園とも過去に何件かの事例があるが特に問題視はされていない、笠懸野文化ホールで骨折の事例があるがこれも傷害保険の適用で大きな問題にはなっていない。宮崎 今回の公立保育園での骨折の事例については、加入しているもあまり意味のないと思える傷害保険に加入している。もしもの場

Q どうする地球温暖化問題

A これから取り組む

上岡 克己 議員



問 昨年の9月に質問した環境問題についての取り組みは、その後、どのように進んでいるのか。

民生部長 環境問題の基本となる基本計画の策定について、平成19年度から始める予定だったが、平成20年度から始める。

問 なぜできなかったのか。民生部長 現在の職員体制の中で、騒音や震動問題等の対応や日々の仕事に追われたから。

問 今後、啓発活動をどのようにしていくのか。民生部長 広報みどりを通

合において示談書が取り交わされるような保険に入っていないか、みどり市として未整備といわれても仕方ない、今後は、全ての公共施設がしっかりと時代に対応した保険加入をしていくよう再度検討をお願いしたい。

して、資源ゴミ回収団体の募集や、生ゴミ処理器への補助金などの広報活動を行い、バイオディーゼルの導入、マイバッグ運動の推進、桐生市清掃センター見学など啓発活動をしていきたいと考えている。

問 東地区の「三大祭」で環境リサイクル展が、今年行われなかったのはなぜか。民生部長 来年の3月に、第1回の福祉まつりを計画

している中で、その中でやっていきたい。

問 福祉まつりをどのようになら実施していく考えなのか。民生部長 笠懸のバルと公民館を中心に、健康、福祉環境の展示や、子どもが楽しめるような、ぬいぐるみやゴレンジャーを取り入れていきたい。

問 健康、福祉、環境と3つを一緒にするのでなく、環境だけでやる考えはないか。民生部長 当初から3つを中心に考えていたが、今後考えてみる。

問 市長も、昨年の9月には、身近にできることからやっていくと答弁しているが、なにか環境にやさしいことをしているのか。

市長 子どもに教えられない心がけたり、自転車に乗ったり、軽自動車に乗りかえて通勤している。

問 環境教育の現状と課題について、どう考える。民生部長 成長段階に応じた環境学習を進めるため、幼、小、中、



▲群馬県環境パンフレットより

高に別けて、全ての教科において学習している。課題として、学校教育の内容と家庭と地域の連携を強化することが大切である。

Q 全国学力テストをどう活用するか

A 市内全校に授業改善の提言を行う

椎名 祐司 議員



問 昭和39年以来43年ぶりに全国学力テストが実施された。このテスト結果をもとに、子どもの学力向上に向けて、どのように活用していくのか。

民生部長 教育研究所の学力向上の取組みの中で、問題分析、結果分析、授業

改善への提言、予想問題作成を行い、市内全校に年度末に提案する予定である。

問 各学校が特色ある教育を行うためにも、学校予算における校長裁量権の拡大を図るとともに、現行の県費負担教職員制度を見直し、市町村に任命権を委譲する

A 第3者機関の監視は有効である

問 公共工事における落札価格の適正な水準についてどう考えているのか。

総務部長 落札率が30%などの低いものは、材料や施工状況が大丈夫なのか、不安になるのも事実である。制度としては、最低制限価格制度や低入札価格調査制度があるので、制度導入を検討していきたい。

Q 公正・公明な入札制度改革が必要だ

問 今後の汚職事件をふまえ、より公正・公明な入札制度改革が必要である。

今後、生活者・納税者の視点から市に対して提言を行う組織として、一般の有識者を入れた第3者機関を設置するべきだと思いが。総務部長 第3者機関の監視を受けることは有効な手法と考える。入札制度の検討を行っているので、研究の一つにしていきたい。

問 電子入札システムを導入する考えは。

総務部長 電子入札は、平成22年度までに段階的に紙入札から電子入札への移行を計画している。



▲授業風景

Q 嘱託職員・臨時職員の賃金体系は

A 各課で検討している



古田島 和茂 議員

問 専門的、危険性、定時間外勤務など、考慮した賃金体系になっているのか。

答 さらに送迎バスの運転手を例に見れば、早朝の迎え、夜間の送り、常に人の生命を預かる職種にもかかわらず現体系は、いかがなものか。生活のための救済の質問ではない。職能給的な配慮はどうか。

総務部長 今回の社会的状況はわかる。全体的財政の問題でもある。法として、これらの職種の労働体系があるが、法は法として、時間給の引き上げも考えなければならぬのではと、各課

でヒアリングを行っている。制度の中で考えて行かなければならない。

果小跡地問題  
問 みどり市の土地賃貸借問題が協議的となるなか、果小の跡地はどうか。その賃貸借の解決はできたのか。不登校事業を行っている方の実績、また、市として契約内容の把握は。

総務部長 賃貸借地は、地権者との話し合いがつき返却する。供託してあった金額は支払った。18年度については無断使用していたことから賠償金として、予算計上した。事業に対しては、諸事情により実績はないと思われ。事業計画の提出を求め、契約更新できるかどうか判断する。

地上デジタル放送対策  
問 難視聴地域の地デジ対策について再質問。方向はでたのか。未だみどり市民の不安は払拭されていない。

たい。まず地デジ対策に取り組みたい。

中継基地をつくる方法も含め効率的な方法を検討中である。

地上デジタル波完全移行の2011年までに全世帯で見られるようにしたい。国策であり総務省でも構築しきっているのでは。住民説明会も早期に検討する。



▲わらべ工場の嘱託職員作業風景

Q 妊産婦無料健診の拡大を

A 2回から5回に検討



高草木 良江 議員

問 安全・安心の出産のために、妊産婦無料健診の拡大を図るべきでは。

現在、妊産婦無料健診は前期に1回後期に1回の計2回の実施となっているが今後の対処は。

民生部長 20年度からは2回を5回で実施に向けて取り組んでいる。

を広域調整室で募集しているが、そういった人達も含めて応援をしていただく仕掛けづくりが必要である。



▲マタニティマーク

市の大きな財政負担になっている。今後、庁内に検討委員会を立ち上げ検討したい。公共用地の取捨選択をして、必要なものは買い、返せるものは返すという基本にたつて各課で検討をし、全体の検討会議を今月半ばに開く。何年かたてば土地代が出るくらいの高料金を収入を得、売買に応じないケースも出ている。一般財源に限りがあるので土地基金を使って少しでも解決に向けた努力をしていく。

問 教育機関の借地が目立つが設置の際、自治体所有の規定はないのか。

教育部長 学校を設置する場合、県の段階では官地でもなくてもよいとしている。

原田 この借地問題は、行政として、おちつかない状態におかれるということ。行政の根幹をなす問題が、なぜ合併協議の中で出てこなかったか不思議でならない。しっかりとした基準の下で前向きに取り組んでほしい。アクセス道の排水対応が可能などうか県と協議

Q 公共施設用地の借地、市の方針は

A 土地基金を使って少しでも解決を



原田 好雄 議員

問 厳しい財政難に苦しむ地方自治体が全国から寄付を募り、それを財源に施策を実現する「寄付条例」の導入を提案したい。

寄付条例とは、自治体が政策メニューを示して全国の個人や団体に寄付をしていただき、それを基金として

て積み立て制作を執行するものである。

総務部長 市が行う事業に賛同していただき、寄付していただくということができれば大変心強い財源になる。

事業のメニューによって非常に協賛が得られる物も出来るので、前向きに検討していきたい。

市長 考えは非常にいいと思う。

今、ふるさと応援団と称して、市内出身の活躍されている方、あるいは、みどり市に関心・関係のある方

問 保育園、小中学校、給食センター、図書館など多岐にわたる公共施設用地の借地が、大間々町にみられるが、契約内容など現状は

いる。多くは引き下げになっているので地権者との協議が難しい場合もある。

問 今後の市の基本的な姿勢は。

主な公共施設の借地状況 (H18年度)

	借地面積㎡	年間借地料金(円)
神梅小学校	5,044	241万3,900
大間々給食センター	3,004	169万7,500
大間々中学校	2,945	189万9,200
大間々東小学校	1,870	256万7,000
大間々北小学校	3,087	254万7,500
福岡西小学校	2,301	141万2,100
福岡中央小学校	2,198	98万7,800
笠懸小教材園	1,050	22万5,000
大間々図書館	2,502	351万7,000
市立赤城保育園	4,360	362万6,435
市立大間々保育園	1,037	78万99,25
ながめ公園	27,321	1,588万6,060
その他含む総合計	456,583	1億6,821万9,024

Q 保育園の新設は

A 120名程度で22年度の開設を



新井 巖雄 議員

同じ食事だ。エアコンを設置して、幼稚園の調理室を使用する。

幼稚園での3歳児保育園についての検討は。

教育部長 幼稚園の今後のあり方や、3歳児保育については充分検討して行く。

保育園中期整備計画では、50号の南に保育園を新設する。開設は23年度とあるが、予定を早めては。

民生部長 定員120名程度で22年度の開設をめざして準備に取りかかっている。法人を募集して、20年3月には決定したい。

デマンドバスの運行は

デマンドバス(電話予約バス)にした場合、大間々北部の小平地区の通学機能は確保されるのか。

総務部長 デマンドバス2台で運行すれば、子供達を運べるので影響はないと思う。スクールバス機能は残したい。



蓮 孝道 議員

問 桐生厚生病院への乗り入れは検討しているのか。

総務部長 桐生市への乗り入れはせず、みどり市内で運行するので、厚生病院へは考えていない。

問 バス停方式を取るとのことだが、バス停まで行けない人達のために、福祉タクシー券は必要と思うが。

Q 補助金をゼロベースから再構築する考えは

A まずは基準づくりから

出ているか。

総務部長 平成18・19年度予算編成においては「団体補助1割カット」運営補助から実際の事業に対する補助への重点化」を目標に対応した。抜本的な見直しとしては「補助金等調査検討会議」あるいは「補助金等検討会議」を設置し、行政以外の人も含めて平成19・20年で取り組む予定だ。

なお、補助金の推移と合併効果については、平成17年度と平成18年度の差引4202万2000円の削減となった。

問 平成20年度予算編成方針として、補助金をゼロベースから考えたとあった。是非努力していただきたいと思う。関連として、我孫子市では、補助金を当初予算からいったん排除し、その後補助金交付を受けた団体は事業計画書を提出す

る。そして、市民からなる検討会にかけられ、市民の可否によって交付額を決定したそうだ。

これぞまさにゼロベースからの補助金再構築だと思いがみどり市では取り組めないか。

市長 みどり市は旧3町村それぞれの補助金交付のしくみを引きずっている。まずは補助金交付の基準づくりが優先だ。

問 私は市長の政策判断で補助金の濃淡をつけてもいいと思うし、また、ゼロベースから補助金を考える

こともひとつのシステムの構築のあり方だと思う。さて、補助金交付の先進的な事例としては、ハンガリーでは納税額1%を納税者が公益活動を行うNPOに対し自由に助成できる制度を設けている。また、世田谷区ではNPOの事業コンペを行い優秀なNPOに助成をしていくまちづくりファンドという事業をしている。おもしろい制度だ

問 平成16年度・17年度は合意書・覚書により、周辺整備費1億5000万円・駐車場分2500万円は支払われたが、平成18年度は合わせて5000万円、平成19年度はほぼゼロになった。平成19年度補正予算の通常開催分の売り上げは、

事業局長 通常開催分で500億円となっており売り上げが好調で、要因は場外だ。

問 今回、民間委託したのは通常開催で300億円前半に落ち込むだろうとの中、競艇関係者が皆我慢し大幅

な改革をし、この危機を乗り越えることであった。

問 平成16年度決算明細を見ると、返済金・減価償却費で3億円・関東開発の独自に購入した発売機が年3億円が新たに増えている。

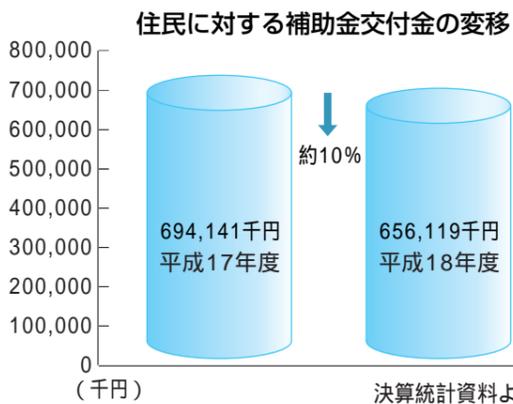
なんぶ場外進出時の覚書、「赤字なら会社が補てんする」事になった。この覚書は失効していると言っているが、事業局長 会社はそう言っているが、この覚書は解除の覚書はない、従ってこの覚書は有効だ。

都市建設部長 覚書があったのは覚えているが、解除されたとは聞いていない。

問 委託会社提出平成18年度の決算内訳書では、①本場が4億1000万円黒字

②なんぶが3億5000万円赤字、本場の黒字をなんぶに補てんすべきでない。黒字がわかれば、赤石部長は交渉すると言ったが、

総務部長 黒字とわかれば会社に要求すべきと考える。市長 もう少し新市に移行のときトラブルにならないよう契約してほしかった。



Q 「赤字なら会社が補てんする」という覚書は

A 会社側は失効していると言っているが、覚書は失効していない



伊藤 正雄 議員

問 平成16年度・17年度は合意書・覚書により、周辺整備費1億5000万円・駐車場分2500万円は支払われたが、平成18年度は合わせて5000万円、平成19年度はほぼゼロになった。平成19年度補正予算の通常開催分の売り

上げは、事業局長 通常開催分で500億円となっており売り上げが好調で、要因は場外だ。

問 今回、民間委託したのは通常開催で300億円前半に落ち込むだろうとの中、競艇関係者が皆我慢し大幅



▲桐生ポート



▲笠懸幼稚園

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。

# Q 笠懸町の学校給食は、自校か、センターか

小内 信一 議員



問 大間々町の給食センターの老朽化に伴い来年度中に計画される、給食センター建て替えについて、笠懸町の保護者は、合同給食センターの建設になるのではないかと多くの不安を抱いているが。

答 9月に笠懸町のPTA懇談会を開催して事務局案として、合同給食センター案を報告したところ、自校方式を残してほしいとの強い要望が多かった。

問 笠懸5校の給食をドライ方式にする経費と説明は、混乱を避ける為、なるべく早い時期に方向性を示してほしい。

答 自校方式を残してほしいとの強い要望が多かった。9月に笠懸町のPTA懇談会を開催して事務局案として、合同給食センター案を報告したところ、自校方式を残してほしいとの強い要望が多かった。

を中心に啓蒙、指導して行きたい。

問 生ごみの減量対策で水分を切る、コンポスト容器で堆肥作り、来春からの家庭用廃食用油回収をペットボトルで行うことについてはどうか。

# Q 社会体育館の運営について

## A これから慎重に検討する

山口 慶一 議員



問 先日の議会において公共施設の耐震化及びその調査について二・三の施設を除

き無調査があったが、その後どのくらい進んでいるのか。

答 総務部長 3庁舎のうち笠懸庁舎だけが耐震基準をクリアしていないので、今年度中に耐震診断をし、平成21年度に耐震改修をしたい。

問 社会体育館の建設が緒に付いたが、インフラ整備特に体育館への進入口に関しての道路は万全か。特にこれから資材の輸送等に支障はないのか。体育館の建設と同時に、もしくは、早め

に道路の整備が必要だと思

問 都市建設部長 周辺道路の整備計画及び対策について着々と進めている。建設時の資材運搬等に関して支障

ないようにやっている。

問 社会体育館完成時にはその運営はどのように行うのか。市独自で運営するか

又は委託するのか、特にトレーニングルームの運営に

だ。館の運営は直接市で行い、トレーニングルームに関しては委託ということも考えられるが、平成22年度からは館の運営委託をするか只今検討中だ。使用料の問題等もある



▲建設中の社会体育館

2つ程度・男性用を3つ程度増やすよう、検討しているところだ。

山口 良い体育館を造り皆で育てていこう。

動している読み聞かせのボランティア団体への補助金等の支援をどのように考えているのか。

答 教育部長 図書館で行われている読み聞かせ活動については、ボランティア団体に負担がかからない取り組みができるよう可能な支援を行う。

# Q ボランティア等への行政支援は

## A 全ての市民が気持ち良く参加できるようにする

須藤 健久 議員



問 子育て支援に関連したボランティアへの行政支援に関する質問で、学童の情操教育などに携わる団体

活動しているボランティア団体等の現状をどう捉えているのか。

答 教育部長 各団体共に一生懸命努力し活動している。その積極的な推進に心から感謝している。市でも読書活動を推進している。市で図書館を拠点として活



▲読み書かせ（おおまま わらべの会）

# Q 今こそ市庁舎分庁方式を見直しするべきでは

## A 合併協議の決定事項を尊重し現行のまま行きたい

鍋木 豊 議員



識している。  
問 一に決断力、二に決断力、三に決断力の意気込みを「今も今後も」持ち続けたいが。  
市長 議員の提案には一点の曇りもない。市長という力が強いが故に行使することに慎重になることもある。合併協議の決定事項も大切であり尊重したい。

Q 市がリーダーシップをとった消防団の統合を

A 団長から要望があれば市側も入って協議する

問 市長選、市議選が終わりに、名実共に新市みどり市が動き出したのは今年の5月、市議会と市長・総務部、税務関係書類の耐火火庫への保管、庁舎の耐震性・防災を考えた庁舎、業者の出入りのある部局の一局集中等を考え、今こそ、市全域を見渡した市民重視、行政効率重視の分庁方式の見直しを考えるべきでは。  
総務部長 昨年度、分庁方式の見直しを提案したが、諸々の経緯で実現しなかった。事務の効率から考えても提案のような部局の配置替えが理想であることは認

問 消防団の統合は非常に難しい問題である。市側がリーダーシップをとって今後の協議を進める考えは。  
総務部長 団長から要望があれば、地域の要望を踏まえ、今後は市側も入って協議していきたい。  
問 地域を守る消防団であり、今ある消防ポンプ車を

問 市民の足は多岐であり財政支出も少なくない。行政改革プラン、平成20年度予算編成方針主要施策に



金子 實 議員

# Q デマンドバス導入住民ニーズの把握を

## A 住民の意思に沿って検討

かっている。みどりの消防長は市長。最終責任をとれる行政側が地元から出される諸問題を出来る範囲で受け入れ、統合問題を進めていただきたいと思います。  
総務部長 地元の要望も踏まえ、今後の協議を進めていきたい。  
その他の質問  
フッ化物洗口の保育園・幼稚園・小学校への全市導入について



▲消防団訓練風景（大間々）

デマンドバスの導入があるが、行政改革プランに沿った施策か。

総務部長 赤字路線バスの見直しの方策と公共交通を守る検討の中での導入である。

問 住民ニーズ把握調査の方法と要望の結果は。

総務部長 笠懸・大間々地域の高齢者福祉タクシー利用者で、民生委員が聞き取り調査で実施した。利用す

る55・66%、しない44・34%であった。  
問 運行する地域は。

総務部長 笠懸・大間々の全域で、東地域は路線バスを残す方向で検討している。問 逆ではないか。高齢化率が低い地域は需要が少なくない。福祉タクシーの拡充の方が利便性が高い。わ鐵との関係もあるが、東地域の住民が納得するのか。  
総務部長 将来、車に乗ら

り、いじめ対策会議で検討している。

問 笠小の運動会で小雨降る中。子供達は半袖半ズボンで唇を紫色にし、身体が震えているのに、先生の中には温かいウェアを着、手をポケットに入れていた。この様な対応をする人はいじめを真剣に考え、対応できるのか心配だ。  
総務部長 評定が難しく、一律に支給している手当てがある。

問 意味のない手当であれば、名称を改めるべきなのではないか。  
次に納税について。収納対策課ができてどうなったか。  
総務部長 督促、差し押え、時間外納税やコンビニ納入をできるようにし、納めやすくしようとしている。

は、中小零細企業が多い。しっかりと払っている事業者等を、もっと大切にすることを示すべきではないか。産業観光部長 市内の中小企業者にしほった発注等を行い、対応していきたい。  
問 みどり市に優良企業を誘致し市の活性化を望む。地方税が上がり納税方法が従来の期毎では大変な人達が出てくる。毎月の払いにする特別徴収をもっと勧めるときでは。  
総務部長 特別徴収を電話・手紙等でお願している。農家や個人商店、事業主は、この納入方法を是非とり入れてほしい。

# Q 学校適正化委員会の経過は

## A 2年後に報告書をまとめる予定

大澤 映男 議員



問 学校適正化委員会の経過について。

教育部長 協議、視察等を経て、2年後には報告書をまとめる予定。問 24・25歳の若い人達が家を新築し転居して来る。6・7年後にはその子どもが入学する。笠小学校区で

は月追うことに新築工事が目立ち、今後増える予定である。このことを踏まえ、計画を立てて欲しい。専門家の意見を聞くのも良いが、地元住民の意見を反映させるべきだ。

次にいじめ問題について教育部長 アンケートを取

ない方も増えてくる。若い人にも乗ってもらうシステムにしたい。誰にでも利用できる公共交通としたい。  
問 公共交通の必要性が高まることは理解しているが、財政を意識した立案をすべきだ。わ鐵や民間会社への影響も考え、「公共交通協議会」を設置し、意見集約を図るべきである。  
市長 何の住民サービスを望んでいるか現場に出て確認したい。社会情勢、高齢化の進ちよくな中身を確認し住民の意思に沿った交通施策にしていきたい。

その他の質問

北関東自動車道Cへのみどり市の名称付加について  
桐生・みどり連携推進会議の合意事業について



▲路線バス



▲通学風景



**笠懸町**  
大澤 貞雄

自給率を上げられる農政を

我が家の農業経営の柱である米と露地野菜の収穫を今年も終えた。

大規模農家に補助金を集め、中させようと今年産から始めた品目横断的経営安定策。我が家は小麦を6ヘクタール作付けしているが（価格補てん条件面積は個人で4ヘクタール）、実質値下げだ。今、小麦の売り渡しの価格は60kg約1700円（価格補てんのない値）、これに過去3年の実績、蛋白質含量などで加算される仕組み、穀物自給率を上げ、担い手を育てるといった政策なのだが、条件が現実的でない。小規模の人も生産意欲を持ち、採算がとれるような内容に。外国産が今、余剰農産物ではないのだから。



**大間々町**  
粕川 光代

名所文化財を生かして多くのの人に

大間々町に嫁ぎ、38年の時が過ぎました。当時の足尾線（現在、わたらせ渓谷鐵道）に乗り、大間々駅で下車しひとときわ目立つ黄金色に染まった要害山の展望

や高津戸渓谷を流れる渡良瀬川の水の青さなど渓谷に見とれてしまい感動したのを覚えています。今も変わらない自然の美しさと周辺には、コノドント館、小平鍾乳洞、夕暮れ時ライトの光の中で幻想的に見えるながめ余興場。みどり市内には多くの観光名所や、重要な文化財があります。私たちの恵まれた良き環境を生かし県内外の多くの人達に来てもらえるように行政に期待しています。



**東町**  
星野 昭一

わた瀬と朝市会

わたらせ渓谷鐵道花輪駅が平成11年3月住民の要望で改築された時、駅が住民の活動拠点になるよう「ふれあいセンター」を併設しました。私達はわた瀬の存続と地域の発展を願い、わた瀬利用者と住民のふれあいを求めて同年5月より「ふれあいセンター」を利用して朝市会を地域全員15名で始めました。当初は地元藤滝不動尊の縁日は毎月28日でしたが、利用者の要望で現在の第3日曜日午前7時30分より開催しています。最近では毎月の開催を楽しみに待っている客が増えていきます。みどり市合併後は石原市長も来所し激励して頂き、わた瀬と共に永く頑張ります。

## 編集後記

表紙を飾った岡上顕彰祭に再注目し、溜井の風」と言う郷土開発の偉人「岡上景能」公の事跡を考察した本を一気に読んだ。

この本の著者は、笠懸町在住の木村芳夫氏である。

岡上景能公がいかにして笠懸野を発展させるかの大目的のもと、水の手が無いために荒涼とした原野がごとき笠懸野に灌漑用水を引くことによりいかに発展させたかという事例がつぶさに理解できた。

いつの時代も水源に関する事柄は、住民生活の最重要事項である。大きな問題となっている旧渡良瀬水道企業団の収賄事件にも通じるがごとく、古今東西、水での利害関係が絶えないのは世の常と感しているが、みどり

## 次回定例会(予定)

**2月26日(火)**から午前9:30~

皆さんの傍聴をお待ちしています。  
問い合わせ ☎76-1970

## 編集委員

委員長	蓮 孝道
副委員長	宮崎 武
委員	坂本 正幸
	原田 好雄
	金子 巖雄
	上岡 克己

(宮崎 武)



総務文教  
常任委員会

所管事務調査

平成19年9月30日から10月2日までの3日間沖縄県那覇市、名護市、沖縄市に先進地視察という観点から所管事務調査に訪問した。

1日目の調査地は、名護市役所にて、「デマンドバス」についての研修。この研修についての事前調査ということでもさまざまな回答を名護市当局から得ており、みどり市において今後デマンドバスを運行させる場合の問題点の追求にある。

名護市においては、試行運転まで実施し住民からの大きな期待と必要性をいただく中、「運送業者」との話し合いがつかず運行までに至らなかった実情があり、みどり市においてはその教訓を活かし、事前のさまざまな協議を関係機関と十分に行い進めていくべきという結論を得た。

2日目の研修は、沖縄市の消防本部に訪問、今後み



目的 子育て支援総合モデル市町村としている事業及びボランティアとの連携による出前型の子育て支援について  
「子育て支援都市宣言」を行ったこの市では、地域全体で子育てを支援してゆくと体制作りを推進、実現している所である。ボランティアとの協働により、子供の健康作りや、遊びなど支援する人、される人にも、大いに好評を得ている。子育て支援の側面支援の観点から、これらの施策は、みどり市の模範とすべきと考える。

どり市として(仮称)「桐生西消防署建設」のためのさまざまな留意点を確認した。

特に重要な部分については、地元周辺住民との話し合いが建設の推進に大事な部分という事を確認、みどり市の消防署建設についても十分な地元説明会等を重ねながら推進をして参りたいと執行部に対してさらに要望している。

3日目は那覇市の社会体育館の視察という事で、現在みどり市も社会体育館建設が順調に進行している



▲那覇市社会体育館



▲みつぎ総合病院内リハビリ施設

経済建設  
常任委員会

付託された議案の  
審査経過と結果

第94号 みどり市国民宿舎事業利用料条例の一部を改正する条例について  
第95号 工事請負契約の締結について

12月13日委員会開催。副市長ほか関係職員の出席のもと、説明を受け慎重に審査を行った。第94号では、支配人の裁量権や利用料金とキャンセル料について多くの質疑が出た。主な答弁



▲名護市役所

が建設後の運営形態についての検討をした。那覇市体育館については、民間委託なので、財政的な面でも今後の参考にしていく。

民生福祉  
常任委員会

付託された議案

第4号 後期高齢者医療保険制度の大幅見直しを求める請願書について  
第7号 難病・長期慢性疾患・小児慢性疾患に対する総合的対策の早期実現を求める請願書について

では、支配人の弾力的裁量権運用は可能。現場での経営やキャンセル料金等の判断は、支配人に任せる。高い料金かどうかはお客さまが判断することであり、効率化を目指し、おもてなしの心を大切にし、お客さまに満足度のある対応をしていくことであった。

第95号条件付一般競争入札という契約の方法では、みどり市の業者に多くの機会を与えることを考慮し、また地元業者の育成という考えもある。参加資格などの面では、Aランク(P点750点)では、みどり市には2社のみであり、参加できる業者が限られてしまいうので、今回は、700点に下げたこと。この工事は、分離発注よりも一体的な事業にしたほうが経費削減、効率化になるとのこと、であった。

採択の結果、両議案とも全員賛成で、原案のとおり可決すべきと決定した  
所管事務調査  
平成19年10月17日から19

第8号 全額国庫金負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書について

審査結果

本委員会は、12月12日委員全員及び執行部の出席のもと開催した。第4号に対し、すべての高齢者から保険料が徴収される制度であり、高齢者の生活実態や、経済状況を精査した上でのものか等、意見集約を行い、結果採択とした。第7号は、その患者や、家族に過酷な負担が強いとされている現状等をかながみ採択とした。

4号7号において、内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣あてに意見書を提出すべきとした。第8号に対し現年金受給者との整合性は計れるのか、無抛出の受給、納入率の低下が懸念されることから不採択とした。

他、第2保育園の分園の取り組み「かたくりの湯」の有料化について、みどり市高齢者緊急通報装置給付事業など各要綱についても協

議した。

所管事務調査

平成19年10月17日から19日まで、所管事務調査を実施した。

視察地

広島県尾道市「公立みつぎ総合病院」  
目的 健康で安心して暮らせる地域をめざした。保健医療福祉の連携、総合を図り、先進的な活動の取り組みについて。

この病院の最大の特徴は、院内に、保健福祉センターを設置したことである。早期より高齢者対策に着目したこの病院は、保健・福祉・医療を一元化することにより、住民がサービスを利用しやすくなったことはもとより、さらなる地域福祉の向上を、市・病院・住民一体となり、模索しているところである。

今後の みどり市福祉のありかたのヒントをいただいた。  
視察地  
徳島市保健福祉部子育て支援課

日まで行った。  
研修地及び研修内容  
青森県青森市議会

- (1)ねぶた祭りについて
- (2)コンパクトシティについて
- (3)競艇事業の現状と今後の課題

10月17日の午後、青森市庁舎に到着。「ねぶた祭り運営と市民参画について」詳細に説明を受けた。この祭りの運営は、青森ねぶた運行団体協議会が中心となり、民間主体でお祭り全体に参与している。8

大型集客施設を開業し、街に賑わいを取り戻している。通行量がアップし、中心部の居住人口も増えるなど大きな成果を上げている。その後質疑応答を行った。「ポートピアなんぶ」では、開場の時から今日までの状況や売り上げ、そして南部町との関わりなど調査研修を行った。売り上げ状況が厳しくなってきたという現状と経営状況を改善するためのこれからの経営方針などを説明を受けた。



▲青森市議会

### Q 真相を公開、サンレイク再生をアピールすべき

### A 集客について努力を惜しむつもりは無い

坂本 正幸 議員



**問** 観光シーズンも一段落した。昨年と比較してサンレイクの経営状況は。産業観光部長 依然として厳しい状況である。

**問** 再生を図る上で徹底した原因究明とその対策が急務、大間々署に届けた盗難被害額三百数十万円の件はどうなっているのか。総務部長 捜査中とのこと。

**問** 誤解と多くの市民に不公平感を与えてしまった割引問題が大きな原因。早急に事実を公表することが、離れてしまったお客様に戻ってもらう唯一の方法では。総務部長 一職員によるラ



▲サンレイク草木

ウンジ、自動販売機の管理などがずさんであったことを主眼に捜査したものの、誤解されたとしたら遺憾である。この件で改めてマスクミ発表は考えていない。

**問** 新支配人は9月議会の答弁で「この程度の割引は一般的に行われている。現場に裁量を持たせてくれないと営業できない」と、とれる発言をしている。再生に向けて新たな営業方針が検討されるなか、この問題を曖昧にしたままでは新コンセプトとの整合性が保て

ない。管理者として誤解されている割引率の真相を公開し、新たにサンレイク再生をアピールすべきでは。市長 集客について努力を惜しむつもりはない。経過については今後考えたい。嘱託・臨時職員の待遇、職種、職能を考慮すべき。

### Q 旧石材センターの崩壊地の復旧は

### A 実態調査をしてから

常見 詔子 議員



**問** 富弘美術館の建設から今日までの経緯は。産業観光部長 平成3年に

**問** 接客マナー、専門的知識、特殊技術を必要とする職場で、合併前に比較し賃金の引き下げと、勤務時間週40時間から30時間に短縮について検討しているそうだが方針を聞きたい。総務部長 県より通達が来ている。地公法に照らして難しい。民営化を含め検討。旧町村から引き継がれた問題について

**問** 旧東村から富弘氏にお願いして作品を無料で借りた。管理運営委員会の委員の選出は富弘氏の同意を得て、市長が任命するところだが現職の議員が委員長では不都合があるのでは。産業観光部長 任命の時は議員でなかった。旧東村では各種審議会の委員には申し合わせによって議員はなかった。

**問** 旧石材加工展示センターの利活用はしないのか。産業観光部長 借地のため地権者とのトラブルもある。農産物直売所は富弘美術館の敷地内に今年の秋に仮オープンして好評だ。解体撤去も含めて、利活用については考える時間を。

**問** 旧石材センターの崩壊地の復旧はどのようなか。元の土地が25坪ほど無

くなっていると地権者が言っているが。産業観光部長 12月補正で復旧工事をする予定だが、実態調査をしてから工事を進めたい。

**Q なぜ、私有地に用**

**A 地権者の立ち会い**

**問** 昭和58年の水路の復旧工事が、なぜ個人の土地に行われたのか。24年間も問題解決できなかった理由は。

**水道局長** 災害復旧工事を施工する際、地権者の立ち会いを得ずに、境界をよく確認しないまま敷設した。長い年月が経過しているが、平成14年に大間々町が私有地の無断使用を認め、地権者と度重なる協議を重ねてきている。

**問** 桐原配水場の法面崩落の再発の危険や、住民への被害防止の対策は。

**水道局長** 当時、災害復旧工事として法面下部に重力式擁壁を設置、崩落法面には現場打込工を施行した。その後平成10年9月の台風



▲法面が崩壊している旧石材センター

時、湧水が発生したので安全対策工事を行った。その他の質問 ○地域経済の活性化のために住宅リフォーム助成を

った事が半分位しか進まなかったというが、取捨選択をし取り組んでいきたい。

**問** 3商工会の合併を平成21年度までという市長の考えのようだが、メリット・デメリットをどのように把握しているのか。ペナルティという話も聞こえているが。

**産業観光部長** 連絡協議会ができた。合併ありきでなく、1年間協議して欲しい。合併しない場合の補助金のカットは考えていない。

**問** 土木費の著しい減少に反し、民生費の増加が大きい。財政バラnsを考慮せず、福祉政策を取り過ぎ斜陽化した国の事例もあるか。総務部長 主に国の制度に起因している事が多い。歳出や税収の状況を把握しながらも予算編成を行いたい。

### Q 不祥事への取組は

### A 綱紀粛正に努める

荻野 忠 議員



**問** 不祥事が次々と起き、市民の信頼を損ね非常に残念だ。事件の顛末をしっかりと分析し、どこにどのような問題があったのか反省し、これからの行政運営に生かすべきと思うが。総務部長 担当部署や行政係が協議し、処理に努めて

いる。綱紀粛正に努めるよう指示も出している。

**問** 市長のみどり市行政運営は、平成20年度の予算編成と平成21年度と2回となる。市長の公約は、どのように予算面に生かしていくのか。市長 マニフェストにうた



▲報道された記事

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。

Q DVの専門窓口設置は

A 早急に検討していく

宮崎 武 議員



問 桐生市長と乳幼児福祉医療費を小学校3年生まで無料化と言う合意をしたことが新聞報道されていたが市長の考え方を確認したい。市長 この件について特にすりあわせをした訳ではない表現として合意とされたのではないかと。

問 ドメスティックバイオレンスは心から信頼すべき夫や恋人から女性に対して暴力を行う行為を指すが、みどり市内で現在までの事例を確認したい。

民生部長 本年4月より事例としては、2件で大きな問題とはなっていない。

問 平成20年1月11日より配偶者暴力防止法の改正に対応し窓口の新設、担当者の専門職化を推進してもらいたい。

民生部長 窓口名称の具体的呼称、専門職の配置についても今後早急に検討して参りたい。

問 桐生市長と乳幼児福祉医療費を小学校3年生まで無料化と言う合意をしたことが新聞報道されていたが市長の考え方を確認したい。市長 この件について特にすりあわせをした訳ではない表現として合意とされたのではないかと。

問 公共施設の傷害保険の現状と今後の対応について伺いたい。先日、公立保育園で起きた骨折の事例を重く受け止め、現在の傷害保険の加入状況と怪我等の事例について確認したい。

Q どういう地球温暖化問題

A これから取り組む

上岡 克己 議員



問 昨年の9月に質問した環境問題についての取り組みは、その後、どのように進んでいるのか。

高に別けて、全ての教科において学習している。課題として、学校教育の内容と家庭と地域の連携を強化することが大切である。



▲群馬県環境パンフレットより

例について確認したい。民生部長 第一、第二保育園とも過去に何件かの事例があるが特に問題視はされていない。笠懸野文化ホールで骨折の事例があるがこれも傷害保険の適用で大きな問題にはなっていない。宮崎 今回の公立保育園での骨折の事例については、加入しているもあまり意味のないと思える傷害保険に加入している。もしもの場合に示談書が取り交わされるような保険に入っていないと、みどり市として未整備といわれても仕方が無い、今後は、全ての公共施設がしっかりと時代に対応した保険加入をしていくよう再度検討をお願いしたい。

民生部長 環境問題の基本となる基本計画の策定について、平成19年度から始める予定だったが、平成20年度から始める。問 なぜできなかったのか。民生部長 現在の職員体制の中で、騒音や震動問題等の対応や日々の仕事に追われたから。

問 今後、啓発活動をどのようにしていくのか。民生部長 広報みどりを通して、資源ゴミ回収団体の募集や、生ゴミ処理器への補助金などの広報活動を行い、バイオディーゼルの導入、マイバッグ運動の推進、桐生市清掃センター見学など啓発活動をしていきたいと考えている。

問 東地区の「三大祭」で環境リサイクル展が、今年行われなかったのはなぜか。民生部長 来年の3月に、第1回の福祉まつりを計画

ことや校長自身が職員の採用や異動、昇任について直接関与できるシステムが必要であると思うが。

民生部長 特色ある学校運営を進めるため、みどり市の校長裁量権は「みどり市立小学校、中学校管理規則」に長期休業日の日数や期日を校長が決めることができるとしている。また、休業日と授業日の振り替えも校長裁量で行えるので、これらを活用して特色ある学校づくりができると思う。

Q 公正・公明な入札制度改革が必要だ

A 第3者機関の監視は有効である

問 公共工事における落札価格の適正な水準についてどう考えているのか。総務部長 落札率が30%などの低いものは、材料や施工状況が大丈夫なのか、不安になるのも事実である。制度としては、最低制限価格制度や低入札価格調査制度があるので、制度導入を検討していきたい。



▲授業風景

問 今回の汚職事件をふまえ、より公正・公明な入札制度の改革が必要である。今後、生活者・納税者の視点から市に対して提言を行う組織として、一般の有識者を入れた第3者機関を設置するべきだと思うが。総務部長 第3者機関の監視を受けることは有効な手法と考える。入札制度の検討を行っているので、研究の一つにしていきたい。問 電子入札システムを導入する考えは。総務部長 電子入札は、平成22年度までに段階的に紙入札から電子入札への移行を計画している。

Q 全国学力テストをどう活用するか

A 市内全校に授業改善の提言を行う

椎名 祐司 議員



問 健康、福祉、環境と3つを一緒にするのでなく、環境だけでやる考えはないか。民生部長 当初から3つを中心に考えていたが、今後考えてみる。

問 市長も、昨年の9月には、身近にできることからやっていると答弁しているが、なにか環境にやさしいことをしているのか。市長 子どもに教えられるが、レジ袋を貰わないよう心がけたり、自転車に乗ったり、軽自動車に乗りかえて通勤している。

問 環境教育の現状と課題について、どう考える。教育部長 成長段階に応じた環境学習を進めるため、幼、小、中、

問 昭和39年以来43年ぶりに全国学力テストが実施された。このテスト結果をもとに、子どもの学力向上に向けて、どのように活用していくのか。教育部長 教育研究所の学向上班の取組みの中で、問題分析、結果分析、授業

改善への提言、予想問題作成を行い、市内全校に年度末に提案する予定である。問 各学校が特色ある教育を行うためにも、学校予算における校長裁量権の拡大を図るとともに、現行の県費負担教職員制度を見直し、市町村に任命権を委譲する

Q 嘱託職員・臨時職員の賃金体系は

A 各課で検討している



古田島 和茂 議員

でヒアリングを行っている。制度の中で考えて行かなければならない。

果小跡地問題

問 みどり市の土地賃貸借問題が協議的となるなか、果小の跡地はどうか。その賃貸借の解決はできたのか。不登校事業を行っている方の実績、また、市として契約内容の把握は。

総務部長 賃貸借地は、地権者との話し合いがつき返却する。供託してあった金額は支払った。18年度については無断使用していたことから賠償金として、予算計上した。事業に対しては、諸事情により実績はないと思われ。事業計画の提出を求め、契約更新できるかどうか判断する。

光ファイバー構想はどうした。総務省においても地デジ対策本部を設置するなど苦慮しているが。

総務部長 全地域の光ファイバー整備をめざしたが、大間々北部と東全域に整備するには数億円という費用がかかるので慎重に対応したい。まず地デジ対策に取り組みたい。中継基地をつくる方法も含め効率的な方法を検討中である。

地上デジタル波完全移行の2011年までに全世帯で見られるようにしたい。国策であり総務省でも構築しきっているのでは。住民説明会も早期に検討する。



▲わらべ工場の嘱託職員作業風景

Q 妊産婦無料健診の拡大を

A 2回から5回に検討

高草木 良江 議員



現在、妊産婦無料健診は前期に1回後期に1回の計2回の実施となつているが今後の対処は。

民生部長 20年度からは2回を5回で実施に向けて取り組んでいる。



問 安全・安心の出産のために、妊産婦無料健診の拡大を図るべきでは。

問 里帰り出産者の対応は。

民生部長 群馬県内の登録医療機関では、受診券で利用できるが、県外の医療機関を使う場合には償還払い

としている。手続きは、受診券と領収書と申請書が必要である。今後もしも里帰り出産ができる方向で取り組んでいく。

問 妊娠初期は流産率が高く、周囲の思いやりや気配りが大切である。

妊産婦が安心して毎日を過ごせるように、マタニティマークの入ったキーホルダーやシールなどを、母

問 難視聴地域の地デジ対策について再質問。方向はでたのか。未だみどり市民の不安は払拭されていない。

問 安全・安心の出産のために、妊産婦無料健診の拡大を図るべきでは。

問 里帰り出産者の対応は。

民生部長 群馬県内の登録医療機関では、受診券で利用できるが、県外の医療機関を使う場合には償還払い

としている。手続きは、受診券と領収書と申請書が必要である。今後もしも里帰り出産ができる方向で取り組んでいく。

問 妊娠初期は流産率が高く、周囲の思いやりや気配りが大切である。

妊産婦が安心して毎日を過ごせるように、マタニティマークの入ったキーホルダーやシールなどを、母

子手帳の交付とともに配布をしていただきたい。

民生部長 桐生市とみどり市の連携交流事業が開始され、この中でマタニティマークの検討を議題としているので、今後取り組んでいく。

問 厳しい財政難に苦しむ地方自治体が全国から寄付を募り、それを財源に施策を実現する「寄付条例」の導入を提案したい。

寄付条例とは、自治体が政策メニューを示して全国の個人や団体に寄付をしていただき、それを基金として

て積み立て制作を執行するものである。

総務部長 市が行う事業に賛同していただき、寄付していただくということができれば大変強い財源になる。

事業のメニューによつて

は非常に協賛が得られる物も出来るので、前向きに検討していきたい。

市長 考えは非常にいいと思う。

今、ふるさと応援団と称して、市内出身の活躍されている方、あるいは、みどり市に関心・関係のある方

を広域調整室で募集しているが、そういった人達も含めて応援をしていただく仕掛けづくりが必要である。



▲マタニティマーク

Q 公共施設用地の借地、市の方針は

A 土地基金を使って少しでも解決を

原田 好雄 議員



問 保育園、小中学校、給食センター、図書館など多岐にわたる公共施設用地の借地が、大間々町にみられるが、契約内容など現状は。

総務部長 多くの契約が旧町村の時に結んだもので、契約期限が切れたものは市の方針に沿って再契約して

いる。多くは引き下げになつているので地権者との協議が難しい場合もある。

問 今後の市の基本的な姿勢は。

総務部長 総額で年間1億7000万円程の賃借料(競艇無料駐車場5477万円を含む)を払っており、

市の大きな財政負担になつている。今後、庁内に検討委員会を立ち上げ検討したい。公共用地の取捨選択をして、必要なものは買い、返せるものは返すという基本にたつて各課で検討をし、全体の検討会議を今月半ばに開く。何年かたてば土地代が出るくらいの高料金のものもある。貸すことで収入を得、売りに応じないケースも出ている。一般財源に限りがあるので土地基金を使って少しでも解決に向けた努力をしていく。

問 北関東アクセス道の都市計画決定見込みと、周辺の雨水排水処理が設計に關連づけられるか。

問 教育機関の借地が目立つが設置の際、自治体所有の規定はないのか。

問 教育機関の借地が目立つが設置の際、自治体所有の規定はないのか。

教育部長 学校を設置する場合、県の段階では官地でもなくてもよいとしている。

原田 この借地問題は、行政として、おちつかない状態におかれるということ。行政の根幹をなす問題が、なぜ合併協議の中で出てこなかったか不思議でならない。しっかりとした基準の下で前向きに取り組んでほしい。

アクセス道の排水対応が可能などうか県と協議

主な公共施設の借地状況 (H18年度)

	借地面積m <sup>2</sup>	年間借地料金(円)
神梅小学校	5,044	241万3,900
大間々給食センター	3,004	169万7,500
大間々中学校	2,945	189万9,200
大間々東小学校	1,870	256万7,000
大間々北小学校	3,087	254万7,500
福岡西小学校	2,301	141万2,100
福岡中央小学校	2,198	98万7,800
笠懸小教材園	1,050	22万5,000
大間々図書館	2,502	351万7,000
市立赤城保育園	4,360	362万6,435
市立大間々保育園	1,037	78万9,250
ながめ公園	27,321	1,588万6,060
その他含む総合計	456,583	1億6,821万9,024

Q 保育園の新設は

A 120名程度で22年度の開設を



新井 巖雄 議員

で同じ食事だ。エアコンを設置して、幼稚園の調理室を使用する。

問 幼稚園での3歳児保育園についての検討は。

教育部長 幼稚園の今後のあり方や、3歳児保育については充分検討して行く。

問 保育園中期整備計画で

は「50号の南に保育園を新設する。開設は23年度」とあるが、予定を早めては。

民生部長 定員120名程度で22年度の開設をめざして準備に取りかかっている。法人を募集して、20年3月には決定したい。

デマンドバスの運行は

問 デマンドバス（電話予約バス）にした場合、大間々北部の小平地区の通学機能は確保されるのか。

総務部長 デマンドバス2台で運行すれば、子供達を運べるので影響はないと思う。スクールバス機能は残したい。

民生部長 1から5歳児ま

ない人達のために、福祉タクシー券は必要と思うが。

民生部長 障害者のための福祉タクシー券は継続して行きたい。

問 バスではなく地元のタクシー活用は考えているか。

総務部長 小平のスクールバス機能を残すために、15人乗りバスとしたい。タクシーの活用は考えていない。



▲笠懸幼稚園

Q 補助金をゼロベースから再構築する考えは

A まずは基準づくりから

蓮 孝道 議員

出ているか。

総務部長 平成18・19年度予算編成においては「団体補助1割カット」「運営補助から実際の事業に対する補助への重点化」を目標に対応した。抜本的な見直しとしては「補助金等調査検討会議」あるいは「補助金等検討会議」を設置し、行政以外の人も含めて平成19・20年で取り組む予定だ。

なお、補助金の推移と合併前後で補助金がどの程度圧縮されたかをみることも合併効果の指標と考えるが、どのような効果が出ているか。

民生部長 平成18・19年度予算編成においては「団体補助1割カット」「運営補助から実際の事業に対する補助への重点化」を目標に対応した。抜本的な見直しとしては「補助金等調査検討会議」あるいは「補助金等検討会議」を設置し、行政以外の人も含めて平成19・20年で取り組む予定だ。

また、補助金の削減は、平成20年度予算編成方針として、補助金をゼロベースから考えたとあった。是非努力していただきたいと思う。関連として、我孫子市では、補助金を当初予算からいったん排除し、その後補助金交付を受けた団体は事業計画書を提出す



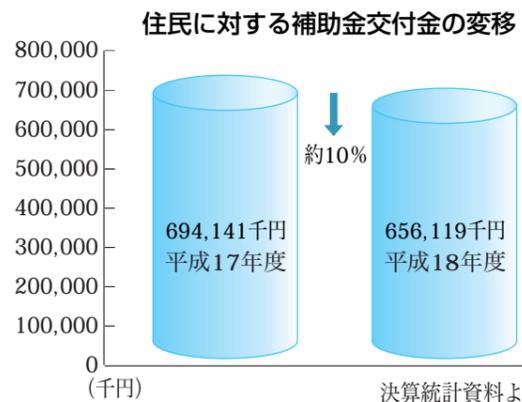
ことひとつのシステムの構築のあり方だと思う。さて、補助金交付の先進的な事例としては、ハンガリーでは納税額1%を納税者が公益活動を行うNPOに対し自由に助成できる制度を設けている。また、世田谷区ではNPOの事業コンペを行い優秀なNPOに助成をしていくまちづくりファンDという事業をしている。

と思うが、市はどう思うか。総務部長 初めて聞いた制度だ。以後勉強する。

な改革をし、この危機を乗り越えることであった。関東開発の社長は説明で「助成しないのではなく1億5000万円の助成は払いたくても払える状況になり」。では改革したお金はどこにいったのか、運営費が委託前よりかかるようになってしまった事です、委託会社の平成16年度決算明細を見ると、返済金・減価償却費で3億円・関東開発の独自に購入した発売機が年3億円が新たに増えている。

都市建設部長 覚書があったのは覚えているが、解除されたとは聞いていない。問 委託会社提出平成18年度の決算内訳書では、①本場が4億1000万円黒字 ②なんぶが3億5000万円赤字、本場の黒字をなんぶに補てんすべきでない。黒字がわかれば、赤石部長は交渉すると言ったが。総務部長 黒字とわかれば会社に要求すべきと考える。市長 もう少し新市に移行のときトラブルにならないよう契約してほしかった。

おもしろい制度だ



「赤字なら会社が補てんする」事になっており補てんされてきた、しかし会社はこの覚書は失効していると言っているが。

Q 「赤字なら会社が補てんする」という覚書は

A 会社側は失効していると言っているが、覚書は失効していない

伊藤 正雄 議員



問 平成16年度・17年度は合意書・覚書により、周辺整備費1億5000万円・駐車場分2500万円は支払われたが、平成18年度は合わせて5000万円、平成19年度はほぼゼロになった。平成19年度補正予算の通常開催分の売り

上げは。事業局長 通常開催分で500億円となっており売り上げが好調で、要因は場外だ。

問 今回、民間委託したのは通常開催で300億円前半に落ち込むだろうとの中、競艇関係者が皆我慢し大幅

は、平成16年度・17年度は合意書・覚書により、周辺整備費1億5000万円・駐車場分2500万円は支払われたが、平成18年度は合わせて5000万円、平成19年度はほぼゼロになった。平成19年度補正予算の通常開催分の売り



▲桐生ポート

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。

# Q 笠懸町の学校給食は、自校か、センターか

小内 信一 議員



ほしい。  
教育部長 自校のメリットは温かい食事が出せる、多様な献立ができる、食育の点も良い、デメリットとしては経費がかかる。文科省の指導により、新たに建設する時はドライ方式になる。予算は1校で1億円と思う。笠懸町の自校方式を残した場合同様に、あらゆるケースに備えて検討して、年度内に方向性を示したい。

を中心に啓蒙、指導して行きたい。  
問 生ごみの減量対策で水分を切る、コンポスト容器で堆肥作り、来春からの家庭用廃食油回収をペットボトルで行うことについてはどうか。

民生部長 生ごみの家庭処理指導、啓蒙継承をしたい。廃食油の回収は学校や給食センターでNPOに委託、来秋を開始予定としたい。

その他の質問  
○森林環境税について  
○農林業地域振興対策は  
○穀物、飼料、原油高騰  
○過疎地域対策債について

# Q 社会体育館の運営について

## A これから慎重に検討する

山口 慶一 議員



問 笠懸5校の給食をドライ方式にする経費と説明は、混乱を避ける為、なるべく早い時期に方向性を示してほしい。  
教育部長 9月に笠懸町のPTA懇談会を開催して事務局案として、合同給食センター案を報告したところ、自校方式を残してほしいとの強い要望が多かった。  
問 笠懸5校の給食をドライ方式にする経費と説明は、混乱を避ける為、なるべく早い時期に方向性を示してほしい。  
民生部長 資源ごみ持ち去り禁止条例については経費のわりに抑止力に過ぎないので社教団体、スポーツ少年団に指導とお願いに廻った。今後は、笠懸町と東町

き無調査があったが、その後どのくらい進んでいるのか。  
総務部長 3庁舎のうち笠懸庁舎だけが耐震基準をクリアしていないので、今年度中に耐震診断をし、平成21年度に耐震改修をしたい。他の公共施設全体の耐震化について65施設107棟のうち耐震基準をクリアしていないのは55棟耐震化率は51・4%サンレイク草木に

問 災害は忘れた頃にやってくる。備えあれば憂いなし、予算の関係もあるのに、序々にでもやってほしい。  
社会体育館  
問 社会体育館の建設が緒についていたが、インフラ整備、特に体育館への進入口に関しての道路は万全か。特にこれから資材の輸送等に支障はないのか。体育館の建設と同時に、もしくは、早め

に道路の整備が必要だと思いが。  
都市建設部長 周辺道路の整備計画及び対策について着々と進めている。建設時の資材運搬等に関して支障ないようにやっている。

問 社会体育館完成時にはその運営はどのように行うのか。市独自で運営するか又は委託するのか、特にトレーニングルームの運営に関して専属のトレーナーを置かなければならないと思うが。  
教育部長 スポーツ文化振興課で考慮しているところ

だ。館の運営は直接市で行い、トレーニングルームに関しては委託ということも考えられるが、平成22年度からは館の運営委託をするか只今検討中だ。使用料の問題等もある

2つ程度・男性用を3つ程度増やすよう、検討しているところだ。  
山口 良い体育館を造り皆で育てていこう。

ので、慎重に検討して制定していきたい。  
問 2階のトイレの数が少し足りないのではないか。特に大会等を行った際、観客が400名余席あるので増やしたほうが良いのでは。  
教育部長 女性用を



▲建設中の社会体育館

動している読み聞かせのボランティア団体への補助金等の支援をどのように考えているのか。  
教育部長 図書館で行われている読み聞かせ活動については、ボランティア団体に負担がかからない取り組みができるよう可能な支援を行う。

ア支援は、子育て支援の地ならし、環境づくりでもある。再度市として検討し何らかの支援を講じるよう強く要望する。

# Q ボランティア等への行政支援は

## A 全ての市民が気持ち良く参加できるようにする

須藤 健久 議員



問 子育て支援に関連したボランティアへの行政支援に関しての質問で、学童の情操教育などに携わる団体ほどの程度あるか。  
教育部長 笠懸町で2団体、大間々町で2団体、合計4団体がある。  
問 図書館等で読み聞かせ

活動しているボランティア団体等の現状をどう捉えているのか。  
教育部長 各団体共に一生懸命努力し活動している。その積極的な推進に心から感謝している。市でも読書活動を推進している。  
問 図書館を拠点として活

須藤 市財政が厳しく、市長を先頭に改革に取り組んでいることは理解できるが、ボランティア活動に一定の支援は行政として考えるべきである。市の総合計画でも協働の必要性が掲げられている。行政のボランティ



▲読み書かせ（おおまま わらべの会）

# Q 今こそ市庁舎分庁方式を見直しするべきでは A 合併協議の決定事項を尊重し現行のまま行きたい

鍋木 豊 議員



問 市長選、市議選が終わ  
り、名実共に新市みどり市  
が動き出したのは今年の5  
月、市議会と市長・総務部  
局、税務関係書類の耐火火  
庫への保管、庁舎の耐震性  
・防災を考えた庁舎、業者  
の出入りのある部局の一局  
集中等を考え、今こそ、市  
全域を見渡した市民重視、  
行政効率重視の分庁方式の  
見直しを考えるべきでは。  
総務部長 昨年度、分庁方  
式の見直しを提案したが、  
諸々の経緯で実現しなかつ  
た。事務の効率から考えて  
も提案のような部局の配置  
替えが理想であることは認

識している。  
問 一に決断力、二に決断  
力、三に決断力の意気込み  
を「今も今後も」持ち続け  
て欲しいが。  
市長 議員の提案には一点  
の曇りもない。市長という  
力が強いが故に行使するこ  
とに慎重になることもある。  
合併協議の決定事項も大切  
であり尊重したい。

Q 市がリーダーシップを  
とった消防団の統合を  
A 団長から要望があれば  
市側も入って協議する

金子 實 議員



問 消防団の統合は非常に  
難しい問題である。市側が  
リーダーシップをとって今  
後の協議を進める考えは。  
総務部長 団長から要望が  
あれば、地域の要望を踏ま  
え、今後は市側も入って協  
議していきたい。  
問 地域を守る消防団であ  
り、今ある消防ポンプ車を  
度予算編成方針主要施策に

統合後も活用する考えは。  
総務部長 更新してまでは  
難しいかと思うが、地域性  
を重視し現行通り使用する  
ことも可能かと思う。  
問 分団には過去何十年の  
長い歴史がある。地域の問  
題は地域の人が一番よくわ

# Q デマンドバス導入住民ニーズの把握を A 住民の意思に沿って検討

デマンドバスの導入がある  
が、行政改革プランに沿っ  
ての施策か。  
総務部長 赤字路線バスの  
見直しの方策と公共交通を  
守る検討の中での導入であ  
る。  
問 住民ニーズ把握調査の  
方法と要望の結果は。  
総務部長 笠懸・大間々地  
域の高齢者福祉タクシー利  
用者で、民生委員が聞き取  
り調査で実施した。利用す  
る55・66%、しない44・34  
%であった。  
問 運行する地域は。  
総務部長 笠懸・大間々地  
全域で、東地域は路線バス  
を残す方向で検討している。  
問 逆ではないか。高齢化  
率が低い地域は需要が少な  
い。福祉タクシーの拡充の  
方が利便性が高い。わ鐵と  
の関係もあるが、東地域の  
住民が納得するのか。  
総務部長 将来、車に乗ら

かっている。みどり市の消  
防長は市長。最終責任をと  
れる行政側が地元から出さ  
れる諸問題を出来る範囲  
で受け入れ、統合問題を進  
めていた方がいいと思うが。  
総務部長 地元の要望も踏  
まえ、今後の協議を進めて  
いきたい。  
その他の質問  
○フッ化物洗口の保育園・  
幼稚園・小学校への全市  
導入について



▲消防団訓練風景 (大間々)

ない方も増えてくる。若い  
人にも乗ってもらうシステ  
ムにしたい。誰にでも利用  
できる公共交通としたい。  
問 公共交通の必要性が高  
まることは理解しているが、  
財政を意識した立案をすべ  
きだ。わ鐵や民間会社への  
影響も考え、「公共交通協  
議会」を設置し、意見集約  
を図るべきである。

その他の質問  
○北関東自動車道I  
Cへのみどり市の  
名称付加について  
○桐生・みどり連携  
推進会議の合意事  
業について

市長 何の住民サービスを  
望んでいるか現場に出て確  
認したい。社会情勢、高齢  
化の進捗など中身を確  
認し住民の意思に沿った交  
通施策にしていきたい。



▲路線バス

り、いじめ対策会議で検討  
している。  
問 笠小の運動会で小雨降  
る中。子供達は半袖半ズボ  
ンで唇を紫色にし、身体が  
震えているのに、先生の中  
には温かいウェアを着、手  
をポケットに入れていた。  
この様な対応をする人にい  
じめを真剣に考え、対応で  
きるのか心配だ。  
次ぎに勤勉手当の意味は。  
総務部長 評定が難しく、  
一律に支給している手当で  
ある。  
問 意味のない手当であれ  
ば、名称を改めるべきなの  
ではないか。  
次ぎに納税について。  
収納対策課ができて  
どうなったか。  
総務部長 督促、差  
し押え、時間外納税  
やコンビニ納入をで  
きるようにし、納め  
やすくしようとして  
いる。  
問 納められない人  
はとにかく、納めな  
い人に担当課として  
積極的に働きかけて  
欲しい。みどり市に

は、中小零細企業が多い。  
しっかりと払っている事業  
者等を、もつと大切にす  
る態度を示すべきではないか。  
産業観光部長 市内の中小  
企業者にしぼった発注等を  
行い、対応していきたい。  
問 みどり市に優良企業を  
誘致し市の活性化を望む。  
地方税が上がり納税方法が  
従来より大変な人達  
が出ています。毎月の払い  
にする特別徴収をもつと勧め  
るべきでは。  
総務部長 特別徴収を電  
話・手紙等でお願ひしてい  
る。農家や個人商店、事業  
主は、この納入方法を是非  
とり入れてほしい。

# Q 学校適正化委員会の経過は A 2年後に報告書をまとめる予定

大澤 映男 議員



問 学校適正化委員会の経  
過について。  
教育部長 協議、視察等を  
順次進めており、2年後に  
は報告書をまとめる予定。  
問 24・25歳の若い人達が  
家を新築し転居して来る。  
6・7年後にはその子ども  
が入学する。笠小学校区で

は月追うごとに新築工事が  
目立ち、今後が増える予定  
である。このことを踏まえ  
た計画を立てて欲しい。専  
門家の意見を聞くのも良い  
が、地元住民の意見を反映  
させるべきだ。  
次にいじめ問題について  
教育部長 アンケートを取



▲通学風景

一般質問は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。



笠懸町  
大澤 貞雄

自給率を上げられる農政を

我が家の農業経営の柱である米と露地野菜の収穫を今年も終えた。

大規模農家に補助金を集まさせようと今年産から始めた品目横断的経営安定策。我が家は小麦を6ヘクタール作付けしているが（価格補てん条件面積は個人で4ヘクタール）、実質値下げだ。今、小麦の売り渡しの価格は60kg約1700円（価格補てんのない値）、これに過去3年の実績、蛋白質含量などで加算される仕組み、穀物自給率を上げ担い手を育てるといった政策なのだが、条件が現実的でない。小規模の人も生産意欲を持ち、採算がとれるような内容に。外国産が今、余剰農産物ではないのだから。



大間々町  
粕川 光代

名所文化財を生かして多くのの人に

大間々町に嫁ぎ、38年の時が過ぎました。当時の足尾線（現在、わたらせ渓谷鐵道）に乗り、大間々駅で下車しひとときわ目立つ黄金

色に染まった要害山の展望や高津戸溪谷を流れる渡良瀬川の水の青さなど溪谷に見とれてしまい感動したのを覚えています。今も変わらない自然の美しさと周辺には、コノドント館、小平鍾乳洞、夕暮れ時ライトの光の中で幻想的に見えるながめ余興場。みどり市内には多くの観光名所や、重要な文化財があります。私たちは恵まれた良き環境を生かし県内外の多くの人達に来てもらえるように行政に期待しています。



東町  
星野 昭一

わた溪と朝市会

わたらせ渓谷鐵道花輪駅が平成11年3月住民の要望で改築された時、駅が住民の活動拠点になるよう「ふれあいセンター」を併設しました。私達はわた溪の存続と地域の発展を願い、わた溪利用者と住民のふれあいを求めて同年5月より「ふれあいセンター」を利用して朝市会を地域全員15名で始めました。当初は地元藤滝不動尊の縁日は毎月28日でしたが、利用者の要望で現在の第3日曜日午前7時30分より開催しています。最近では毎月の開催を楽しみに待っている客が増えています。みどり市合併後は石原市長も来所し激励して頂き、わた溪と共に永く頑張ります。

わたらせ渓谷鐵道花輪駅が平成11年3月住民の要望で改築された時、駅が住民の活動拠点になるよう「ふれあいセンター」を併設しました。私達はわた溪の存続と地域の発展を願い、わた溪利用者と住民のふれあいを求めて同年5月より「ふれあいセンター」を利用して朝市会を地域全員15名で始めました。当初は地元藤滝不動尊の縁日は毎月28日でしたが、利用者の要望で現在の第3日曜日午前7時30分より開催しています。最近では毎月の開催を楽しみに待っている客が増えています。みどり市合併後は石原市長も来所し激励して頂き、わた溪と共に永く頑張ります。

## 編集後記

表紙を飾った岡上顕彰祭に再注目し「溜井の風」と言う郷土開発の偉人「岡上景能」公の事跡を考察した本を一気に読んだ。

この本の著者は、笠懸町在住の木村芳夫氏である。

岡上景能公がいかにして笠懸野を発展させるかの大目的のもと、水の手が無いために荒涼とした原野がごとき笠懸野に灌漑用水を引くことによりいかに発展させたかという事例がつぶさに理解できた。

いつの時代も水源に関する事柄は、住民生活の最重要事項である。大きな問題となっている旧渡良瀬水道企業団の収賄事件にも通じるがごとく、古今東西、水での利害関係が絶えないのは世の常と感じているが、みどり

## 次回定例会(予定)

2月26日(火)から午前9:30~

皆さんの傍聴をお待ちしています。  
問い合わせ ☎76-1970

## 編集委員

委員長	蓮 孝道
副委員長	鍋木 豊
委員	宮崎 武
	坂本 正幸
	原田 好雄
	新井 巖雄
	金子 實
	上岡 克己

(宮崎 武)